

会議録（会議結果概要）

名称	第４回 各務原市緑の基本計画策定委員会
開催日時	令和７年１０月７日（火） １０：００～１１：４０
開催場所	産業文化センター ６階 第３会議室
出席者	川口暢子委員長、大野暁彦副委員長、松原史尚委員、木村徹之委員、永田美帆委員、 斉藤義雄委員、森田起宇委員、村瀬誠委員（代理 立元克也）、川口雅慎委員
議題及び 審議・協 議結果等 の概要	次第 - 開会 - 委員長あいさつ - 議事 - 地区別懇談会の報告 - 緑の基本計画（素案）について - 閉会
	- 開会 事務局より説明 - 議事 - 地区別懇談会の報告 - 緑の基本計画（素案）について 議事（１） 【委員】 - 鵜沼の森にある樹木が枯れている。このような状況に対して市はどこまで把握しているのか、また何か取組を考えているのか教えてほしい。 【事務局】 - 開園してから約３０年経過しており、状況も把握している。樹木の剪定や枯れ木の撤去などを実施している。令和８年度からは古くなった施設の改修を計画している。樹木についても伐採だけでなく補植も計画的に実施したいと考えている。

議題及び 審議・協 議結果等 の概要	【委員】 ・ 他に桜の老木化による対策は実施しているか。 【事務局】 ・ 新境川に百十郎桜がありますが、歯抜けになった箇所について寄付で頂いた苗木を年に 10～20 本植えている。また、既存の桜から取り木、挿し木を行い、苗木を育てている。 【委員】 ・ 百十郎桜の保全の取組は理解したが、堤防に植栽することで損傷しては本末転倒なので十分留意して進めていただきたい。 【事務局】 ・ 新境川は県の管理ですが、これまでかさ上げ等の対策を実施しており治水に対する取組は実施されている。 議事（２） 【委員】 ・ コロナや物価高を経て市民の価値観が多様化している。身近な公園などの緑が大切であるという認識は広まっているので、そのような施策も取込めると良いのではないかな。 【事務局】 ・ 市民満足度調査による市に対するイメージも緑の多さ、自然の豊かな、公園の多さなどのキーワードが出ている。PR 方法については今後取組む必要があると考えております。 【委員】 ・ 自治会に加入しない人もいる中、市民清掃や公園清掃で人が集まらない状況があり、パークレンジャーとして協力しているが、人数を集めるのに非常に苦労している。課題にも挙げられているが、高齢化による会員数の減少、担い手不足について市はどう考えるか。 【事務局】 ・ 緑に限らず、自治会活動、子供会活動でも同様に課題を抱えているということで総合計画にも明記している。緑の基本計画にも担い手育成という基本方針掲げて、効率的な活動を支援したり、子供のころから緑に触れ合う機会を設けたりして意識を高めていきたいと考えている。
---------------------------------------	--

議題及び
審議・協
議結果等
の概要

【委員】

- ・ 緑の基本計画は、行政の計画で、市民にとっては分かりにくく、触れにくいものである。どのように計画をPRしていくか考える必要がある。
- ・ 担い手については、共同体という考え方があるが、昔と今で同じようにするのは難しいところである。最近だとクラウドファンディングみたいな在り方で協力する形も定着してきていると思う。自治会やパークレンジャーという枠組みに捉われない参加の仕組みも考えられる。
- ・ 各務原市の女性のスポーツ参加率が低いという話がある。スポーツを通じた健康づくりの観点についても、記述してもよいのではないか。

【委員】

- ・ 子供のころから公園や遺跡を巡る体験などを教育部局と連携して出来るような施策があると面白いのではないか。
- ・ また、花壇など街並みを綺麗にしている人たちがいる中で、頑張っている人達にスポットが当たるような施策はないか。

【事務局】

- ・ 市内小学生を対象に公園ツアーを開催している。主要な公園を巡って新たな公園の楽しみ方を体験してもらっている。定員数がすぐに満員になる人気の取組となっている。
- ・ 平成13年から10年間ほど民有地緑化の表彰制度を設けていた。まちなかに緑化された外構や花壇などが見られるようになり、緑化施策が浸透したことから10年区切りで表彰を終えた。

【委員】

- ・ 公園の草刈りの適切な維持管理に努めてもらいたい。自治会だけでは対応が厳しい声も上がっている。

【事務局】

- ・ 身近な公園管理は自治会に協力いただいて、ごみ拾いやトイレ掃除など日常管理をお願いしている。基本的に草刈りは年3回、市で実施しているが、それだけでは公園が利用できない状況になるのであれば、回数を増やすことも検討する必要があると考えている。

議題及び 審議・協 議結果等 の概要	【委員】 - 第４章P73 基本方針の記載について、表現が分かりにくいと感じる。図示の方法を再検討して改善をしたほうが良い。 - 第５章P116 計画の推進に向けてのフローチャート図について、市民、市民団体、行政、民間事業者の連携を分かりやすくまとめる必要がある。これまでの行政主導のやり方ではなく、多様な関わり方が分かるような図にしてほしい。 - 治水対策は実行力をもって取り組まなければならない。何か１つでも具体的な対策を記載することを検討して欲しい。 【委員】 １ページの情報量が多すぎる印象である。可能かどうかは別として詳細な内容はQRコードを読み取ると表示される仕組みで誘導したりしてはどうか。 - 国の施策を参考資料として掲載しているがそのまま添付しているだけでは一般の人が理解しにくいのではないか。もう少しかみ砕いて必要な情報のみ掲載してはどうか。 【事務局】 - 本日いただいた意見を参考に素案を再修正する。
会議資料	資料１ 各務原市緑の基本計画策定委員会委員名簿 資料２ 地区別懇談会の報告 資料３ 緑の基本計画（素案）
備考	